

平成二十六年年度 入学試験（平成25年12月7日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

一般に中国医学の自然観はなかなか納得しにくく、理論的根拠はいつたどこにあるのかと疑いたくなることだらけである。(A) まやかしてはなにか、とさえ感じたりする。

たとえば五臓六腑のうちの「三焦」は解剖学的にはどこにも存在しない。にもかかわらずそれは存在しているとして診断が行われ、治療法が決められる。(B) ツボ(経穴)とツボを結ぶ経絡も解剖学的には未知である。しかも経穴・経絡つまり経脈の理屈のもとになっているのは地理学的地形との □とされる。中国には長江、黄河など十二の大河があり、人体にも十二の経脈がある。両者は照応関係にあるとされている。いったい何を根拠に中国の地形と人体が照応していると言えるのだろうか。

また経脈には気が流れているとされる。この気は生命体のエネルギーと通常いわれるが、実体は何も見出されておらず、欧米の科学者たちからは、気は神秘主義の理論として廃された生気論の生気と同じではないか、と(C) 端から相手にされていない。五行説の五行の関係も古式に彩られ、(D) 科学的に洗練された知のイメージからは遠い。中国医学の自然観は、科学の教育を受けた者には得体の知れない(E) うさんくさい理論なのである。

□、中国医学の自然観には真理の(あ) ドウサツが含まれており、自然界に関する本質の知恵がある、と感じさせるものがある。

西欧の科学と中国医学の自然観では、世界認識に関して □とも言える違いがある。それは、西欧の科学が分析的・要素主義的、実体主義的なのに対して、中国医学の自然観は全体論的で機能主義的なことである。要素主義・実体主義の西欧の科学は人体を徹底的に解剖し、臓器や器官、細胞、神経系などの実体を把握したうえで、医学的知識を築いてきた。それに対して、中国医学は実体には頓着せず、機能の把握に(い) イキヨした理論を築いてきた。実体がなくとも機能があれば、その機能に相当するものが存在すると見た。だから三焦に当たる器官が解剖で見出されなくてもフツ(う) コウではなかった。経穴・経絡も同様である。実体が見出せるか見出せないかは本質的ではないのである。実体のない経穴に針を刺すと体の不調や(え) シヨウガイが消える。ゆえに経穴は存在する。それは(お) カクウでもまやかしてもない。

重要なことは、こうした機能は生きていればこそあるもので、死んでしまったらない。生きている生命に特有なことである。中国医学では解剖学がその基礎にならなかつたのは、医学とは生きている人を診るのであって、死体を解剖して調べても生きている状態はつかめない、という考え方があったからだといわれている。動的な生体を、丸ごと生きたままの状態で見ることが大事なのだ、という認識を基礎にしてきたのが中国医学なのだ。

もう一つ重要なことは、中国の自然観は、あらゆる自然システムは宇宙と一体である、という認識を基礎にしていることである。マクロコスモス(宇宙≡自然)とミクロコスモス(人体)は互いに独立自存のものではなく、マクロコスモスの胎内にミクロコスモスは抱かれ、かつ、ミクロコスモス自身がマクロコスモスを内包しているという認識に立っている。宇宙と己自身は不可分の存在である、という一体感の下で宇宙(自然)を見、自然を捉えてきた。人間と自然を截然と切り離し、自然を客体視してきた西欧のものの見方とは根本的に異なっている。人間は自然とは別物であるというのは、東洋人のわれ

われには信じられない考え方である。人間は自然の一部であり、かつ自然と一体であるというのが、古来からの中国の自然観である。

主体（自然を観察する人間）と客体（観察される自然）を分離してきた西欧社会の認識の原理は、近年欧米でも見直されている。特に科学の世界では、量子力学の不確定性原理が台頭して以来、主体の分離をもとにした認識論は崩れている。しかし、二十世紀半ば頃まで西欧社会では人間と自然、主体と客体の分離独立は当たり前のものであり、それが正しいことであるとされ、西欧の科学や思想はそれを前提に築かれてきた。どちらが真実を見る見方であるかは（F）論をまたないであろう。

ただ、残念なのは、真実を見る目は早くから養ったものの、中国の自然観は論理の厳密性に欠けることである。たとえば中国医学ではメカニズムがはっきりしない。経穴に針を刺すとなぜ治療効果が現れるのか、という問いに対して明確な答えは得られない。西欧の科学が実体分析と、ギリシャ自然学の明証的な論理学的方法に裏打ちされているのに対して、中国医学にはその種の論理の厳密性がない。経験的知識の積み上げであり、直感的である。見方（認識論）が違えば論理も理論体系も違うのは当然としても、中国の自然学には思い込みや誤解が体系の中に入り込むのを排除するメカニズムがなく、機能主義的な医学体系が本当に正しい理論なのかを確認しようがない。正しいと信じる人には正しいという域を出ず、欧米人を説得できないのである。それがために、欧米の科学者たちから中国医学は神秘主義的だとして排除されてきた。科学の認識の*パラダイムに中国医学の自然観は入ってこなかったのである。しかし、西欧医学では治せない病を中国医学で治癒できるという現実には、機能主義的・全体論的な把握の有効性をうかがわせる。また、西欧科学のパラダイムに入らないということでもって、中国医学の自然観は誤っている、と結論することはできない。むしろ科学のパラダイムが狭小であるという見方も成り立つ。

「科学の進化」とは中国医学の自然観のような、西欧科学以外の伝統的自然学の優れた点を包含する、新しいパラダイムを築くことであろう。西欧科学では見えなかったものが見えるようになる可能性がある。

（上岡義雄『神になる科学者たち』日本経済新聞社、による）

*パラダイム：一時代の支配的な物の見方のこと。特に科学上の問題を取り扱う前提となるべき、時代に共通の思考の枠組み。

問一、傍線部（あ）～（お）のカタカナと同じ漢字を、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | | | | | |
|-----|-------|--------|--------|--------|---------|
| （あ） | ドウサツ | 1、衝ドウ | 2、ドウ期 | 3、ドウ窟 | 4、ドウ体着陸 |
| （い） | イキヨ | 1、イ存 | 2、イ任 | 3、推イ | 4、優イ |
| （う） | フツゴウ | 1、ゴウ泣 | 2、併ゴウ | 3、ゴウ華 | 4、ゴウ情 |
| （え） | シヨウガイ | 1、シヨウ握 | 2、鑑シヨウ | 3、訴シヨウ | 4、支シヨウ |
| （お） | カクウ | 1、カ題 | 2、書カ | 3、カ渡期 | 4、カ値 |

問二、傍線部（A）「まやかしてはでないか、とさえ感じたりする」とあるが、「中国医学」を「まや

かし」と感じてしまうのは、それが結局どういうものだからか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号6】

- 1、患者に対して治療効果をあげることよりも、全体論的で機能主義的な理論を守ることだけにこだわるものだから
- 2、実体の確認できないものに対して治療を行い、あたかも治療効果があったかのように装うものだから
- 3、自然を見る目に真実を欠くばかりではなく、思い込みや誤解を排除するメカニズムをもたないものだから
- 4、直感や経験的知識に基づくだけで、理論の厳密性に欠け、その理論が正しいか否かを検証できないものだから

問三、傍線部（B）「ツボ（経穴）とツボを結ぶ経絡も解剖学には未知である」とあるが中国医学が「未知」のものを存在しているものとして治療行為を行ってきたのはどうしてか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号7】

- 1、作用の把握に基づいた理論によって治療行為を行い、治療効果があがれば実体の有無にはこだわらなかつたから
- 2、死体の解剖によって臓器や器官などの実体を徹底的に把握したうえで、それでも生体には未知のものが残ると考えたから
- 3、あらゆる自然システムは宇宙と一体であり、人体が中国の地形に照応しているのは自明のことだと見なしたから
- 4、生きたままの人を丸ごと診るのが医学だとする機能主義の立場に立ちながらも、神秘主義的な考えも捨てきれなかつたから

問四、空欄 ー には「類比／類推」という意味のカタカナ語が入る。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号8】

- 1、スキーマ
- 2、プロトタイプ
- 3、アイロニー
- 4、アナロジー

問五、傍線部（C）「端^{はな}から相手にされていない」の意味としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号9】

- 1、心底からは相手にされていない
- 2、最初から相手にされていない
- 3、科学者の端くれのような人からも相手にされていない
- 4、相手にされていないような印象がある

問六、傍線部（D）「科学的に洗練された知」とあるが、それはどういうものか。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号10】

- 1、人体を分析的に捉えるとともに、動的な生体を丸ごと見ようとするもの
- 2、実体にかかわらず、治療効果を優先して考えていこうとするもの
- 3、実体を客観的に分析し、原因と結果を明確にしようとするもの

4、マクロコスモスとミクロコスモスを不可分なものだとするもの

問七、傍線部(E)「うさんくさい理論」の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号11】

- 1、明らかに誤った理論
- 2、何となく疑わしい理論
- 3、低俗な発想の理論
- 4、一般的に知られていない理論

問八、空欄□に入る接続表現としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号12】

- 1、したがって
- 2、さらにまた
- 3、なぜなら
- 4、にもかかわらず

問九、空欄□に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号13】

- 1、決定的
- 2、客観的
- 3、政治的
- 4、論理的

問十、傍線部(F)「論をまたないであろう」の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号14】

- 1、近い将来必ず明らかにされるだろう
- 2、早急に論じられ、結論がだされるべきであろう
- 3、さまざまな見解があり、一つの答えを導くことは難しいだろう
- 4、当たり前のことであり、論じるまでもないことだろう

問十一、本文の内容に合致するものとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号15】

- 1、たとえ東洋人でも、科学の教育を受けた者は中国医学の自然観に疑いをもち、時にはその自然観のすべてを否定することもある
- 2、「科学の進化」とは、中国医学の治療法を神秘主義的として排除することではなく、西欧科学の力でそのメカニズムを説明することにある
- 3、古くから真理を捉える視点をもっていた中国医学の自然観を正當に評価することは、西欧科学のパラダイムの狭小さを示すことにもつながる
- 4、自然は人間の一部であり、かつ自然と一体だとする自然観は、東洋人にはなじみ深い考え方であるが、欧米人にはどうも理解されない考えである

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。【解答番号16～20】

- | | | | | | |
|----|-----|---------|---------|----------|----------|
| 16 | 矮小化 | 1、いしょうか | 2、きしょうか | 3、るいしょうか | 4、わいしょうか |
| 17 | 収斂 | 1、しゅうえん | 2、しゅうけん | 3、しゅうせん | 4、しゅうれん |
| 18 | 克己 | 1、かっこ | 2、かつき | 3、こつき | 4、きっこう |

- 19 奔走 1、ふんそう 2、ほんそう 3、はんそう 4、ばんそう
20 寡聞 1、かぶん 2、かもん 3、せんぶん 4、せんもん

三、21～25の四字熟語の意味それぞれを1～4から選びなさい。

【解答番号21～25】

21 「本末転倒」

- 1、本が転がった末に倒れること
- 2、苦痛のため転がるように倒れること
- 3、物事の根本と末端のことが逆転すること
- 4、何度失敗しても力を落とさず立ち上がって奮起すること

22 「切磋琢磨」

- 1、なぐさめあうこと
- 2、励ましあって高めること
- 3、協力しあうこと
- 4、いじめること

23 「我田引水」

- 1、自分に都合のいい言動をすること
- 2、前置きなしに結論を述べること
- 3、あやふやではっきりしないこと
- 4、根本的な事柄とそうでない事柄を混同すること

24 「荒唐無稽」

- 1、荒々しくて笑うようなこと
- 2、難しくて正確に表現できないこと
- 3、残酷でおもしろさが感じられないこと
- 4、でたらめで根拠がないこと

25 「羊頭狗肉」

- 1、羊の頭部も犬の肉もごちゃ混ぜにして売るように、相手をごまかすこと
- 2、羊の頭を掲げて犬の肉を売るように、見かけと実質が一致しないこと
- 3、羊が頭をつかかって犬をだますように、悪知恵を働かせること
- 4、羊の頭と犬の肉体を持つ空想上の動物のように、奇怪であること

四、次の傍線部「そうだ」のうち、ひとつだけ他と用法が異なるものを1～4から選びなさい。

【解答番号26】

- 1、外は蒸し暑そうだ。
- 2、このカフェなら落ち着いて話せそうだ。
- 3、あの子はバツイチだそうだ。
- 4、写真で見る限りは非常にまじめそうだ。

五、次の傍線部「およそ」のうち、ひとつだけ他と用法が異なるものを1～4から選びなさい。

【解答番号27】

- 1、およそ百人が集まった。
- 2、およそこの世は住みにくい。
- 3、およそ予想していた通りだ。
- 4、およそ同じような意味だ。

六、次の中で、表現として適切なものを1〜4からひとつ選びなさい。

【解答番号 28】

- 1、（司会者が聴衆に）「祝電を読まさせていただきます。」
- 2、（講演者が聴衆に）「ご拝聴、どうもありがとうございます。」
- 3、（駅員が乗客に）「次の駅でお乗り換えしてください。」
- 4、（部下が上司に）「取引先の課長がお見えです。」

七、次のうち、明治時代の代表作を1〜4からふたつ選びなさい。

【解答番号 29】

- 1、『吾輩は猫である』
- 2、『山月記』
- 3、『舞姫』
- 4、『南総里見八犬伝』